

先輩のクラスミーティングの原稿

卒業生が3年生のときに書いたクラスミーティングの原稿です。自分の思いを真剣に語ってくれた思い出深いクラスミーティング。素直な気持ちをみんなが話したら、絶対にいいクラスミーティングになります！

また、クラスミーティングの原稿は卒業式の決意のことばに繋がっていきます。

自分がこの3年間で頑張ったこと、こだわったこと、悩んだこと、みんなに伝えたいこと、心が動いたことなどを思い出しながら書いてみましょう。

「二度とない最高のクラス」

中学生活は、部活やクラスを通じていろいろな友達ができ、充実していたと思います。僕の人格や個性などもいろいろ変わり、人として成長したし、思い出もたくさんあり、かけがえのないものとなりました。

特に、この3年3組との思い出は一番覚えています。修学旅行、体育大会、文化発表会などなど、一言では語りきれませんが、本当に楽しかったです。

一人ひとり力はなかったけど、団結して頑張って、誰かを感動させることができるって学んだし、団結する力があっての3組だったと思います。

先生もクラスのことを大切にしまとまっていたし、みんなが笑顔になれるようなクラスです。これから高校や大学に行っても、これほどまでにいいクラスはないと思うし、今後も絶対に越えられないクラスです。

これは、3組みんなの誇りだと忘れないでほしいです。

今まで、ケガをして苦しかったり、進路のことで悩んだりしたときに、みんなに支えてもらって立ち直ってきました。本当に感謝しています。高校からは、支えてもらうだけじゃなくて、友達を支えられるようになりたいです。

誰かのために頑張れることを大切にします。そして、勉強、部活を共に頑張り、大人になるために人としてもっともっと成長したいです。

この3年間の思い出は一生の宝物！みんな本当にありがとう！

「拝啓、未来の僕へ」

僕はずっと学校を休んでいました。家から出るのが怖くて、人と会うのが怖くて、学校の門を通るのが怖くて、みんなの前に立つのが怖かった。でも今は、学校を休んでいたことを後悔しています。休んでいた時間は取り戻せないから、これからはそれ以上に将来、夢を叶えるために頑張っていきます。

これから先、どんなにつらいことがあっても、苦しいことがあっても、毎日迎えに来て僕を支えてくれた〇〇くんや新井先生。いつも話を聞いてくれたおじいちゃんやおばあちゃん。学校に来たらいつも優しく迎えてくれたクラスみんなのことを思い出したら立ち止まることなんてできません。

絶対に頑張れます。いっぱいいっぱい心配と迷惑をかけても支えてくれたみんなの温かさ、優しさを思い出します。僕はひとりじゃない。いろんな人たちが支えてくれ

ています。だから、苦しいときはちゃんと相談するし、もし僕が悩んでいたら、みんなまた話しをきいてください。

これからの僕は、ちゃんと自信を持って、胸張って、前を見て、一步ずつ歩いていきます。みんなが支えてくれたから頑張れた。苦しくて踏み出せた。だから絶対頑張れる。将来の夢をくれたのもみんなです。僕と同じように苦しんでいる人と向き合って、支えていけるように嫌いな勉強も頑張ってみます。本当にこのクラスでよかった！みんな本当にありがとう！！

「今の自分」

今の自分は、将来自分自身がどうなっているかわかりません。どこかの社員になっているかもしれないし、工場で働いているかもしれないし、職にも就かずにニートになっているかもしれません。将来の自分が決めることだから文句は言いません。

でも、将来の自分に忘れてほしくないことがあります。それは、「自分を貫く」ということです。例え周囲に文句を言われても、自分の正しいと思う道を貫いてほしいです。今の自分は一度自分を曲げたことがありました。その時、強烈な気持ち悪さとひどい頭痛になり、その日は眠れませんでした。もうあんな思いになりたくないです。

自分をいい方向に変えることは大切だと思います。もし悪い方向に変わりそうになったら戦ってほしいです。自分を曲げて生きていっても、自分には痛みと気持ち悪さしか残らないことを忘れないでほしいです。

これを読み返したとき、将来の自分が何か感じてくれるとしたいと思います。

「3年間での思い出」

僕は中学校3年間、本当に多くのことがありました。親の転勤で4月から大阪に来たので、最初の1週間は本当に誰とも会話をしませんでした。しかし、部活が始まるとチームメイトをはじめとする多くの友達と出会い、少しずつ大阪に慣れ、楽しいと思える日が徐々に増えていきました。今回は、その中でも部活動と学校生活について書きたいと思います。

僕はサッカー部に所属していました。部活動は想像以上に厳しく、一年生の最初の頃は玄関で寝てしまうほどでした。でも、チームメイトと切磋琢磨しながら必死に努力してきました。個人的に掲げた「優勝」は果たせずに引退してしまいましたが、このサッカー部で本当に良かったです。

次に学校生活についてです。2年生の時は、自分の弱さを痛感できた年でした。クラス内で問題が絶えない中で自分も問題を起こしてしまい、迷惑をかけた人には本当に申し訳ないと思っています。3年の時は多くの思い出を作れた1年でした。毎日が楽しく、山あり谷ありの1年間でした。

この3年間で僕は多くのことを学び、体験しました。中学校で過ごした日々を僕は絶対に忘れないです。

こんな感じで、それぞれの思いを書き、しっかりと発表し卒業していきました。

卒業後も、それぞれいろんなエピソードがあって、今も話しにきてくれます。

みんなも、71期生として過ごしてきたこの3年間をしっかりと振り返り、胸を張って卒業を迎えましょう。